

様式

技術名称	カルシア改質土による 海域環境修復技術	技術の分類	材料、工法	NETIS登録の有無 (有場合はNETIS番号)	検討中
会社名等	カルシア改質土研究会 (新日本製鐵株)	担当者	スラグ・セメント事業推進部 横尾正義	連絡先	080-5886-7424
技術の概要	港湾等の浚渫に伴って発生する大量の浚渫土をそのまま処分するのではなく、本技術では、カルシア系改質材との混合により、強度付加などの土砂性状の改良・改質や、富栄養物質の発生を抑制し、港湾事業や海域改善事業に活用可能とするものです。	添付資料	パンフの有無	有	
			その他の資料		
技術の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ●干潟浅場造成材として浚渫土のみで施工する場合に比較して <ul style="list-style-type: none"> ①覆砂の食い込みがなくジオテキスタイルの省略が可能 ②圧密沈下量が軽減でき、干潟天端高さのメンテナンスが不要 ③材料強度により自立可能なので法留め潜堤が不要 ④耐波安定性が向上し浚渫土の流出がない ⑤経済性として浚渫土のみで施工する場合に比較して0.7程度 ●深掘り窪地部埋戻し材として浚渫土のみで施工する場合に比較して <ul style="list-style-type: none"> ①覆砂なしでリン・硫化水素の発生抑制が可能 ②耐波安定性が向上し浚渫土の流出がない ③覆砂の食い込みがなく、圧密沈下の軽減が可能 ④凹凸のある表面地形の創出が可能 ⑤経済性として浚渫土のみで施工する場合に比較して0.7~0.9程度 	その他	○本技術は、H21年度に環境省の環境技術実証事業(ETV事業)の閉鎖性海域における水環境改善技術分野において実証評価実施済		

※複数の技術について発表をご希望の場合は技術ごとに記載願います。